

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

タンチョウが総社の空を優美に舞うことを願って、今年3月、吉備タンチョウの会を設立しました。

会では、市の鳥タンチョウをPRし、まちの活性化にもつなげたいと、9月の「タンチョウさんこんにちは」を皮切りに、「タンチョウ写生大会」、11月30日の「タンチョウまつり」を計画しました。

タンチョウ写生大会は10月25日、下倉の高梁川河川敷ときびじつるの里の2会場で開催しました。参加してくれた子どもたちは、絵の具やクレヨンを使い、かわいいタンチョウを画用紙いっぱい描いていました。



タンチョウも、どんな絵を描いているのかなと近づいてきた

ら、今後もタンチョウのPRと愛護の気運を盛り上げ、活動の輪を広げていきたいです。

(吉備タンチョウの会 川西孝さん・原)

義民4人衆をご存知ですか。29

1年前、村の持ち山の存続と村人の暮らしを守るため、命をかけた直訴で、新本の民衆を救った4人の村人のこと

です。新本地区では毎年夏に義民祭を開催し、4人をたたえています。

義民祭を支える新本享保義民奉賛会では、義民ゆかりの地を今一度巡り、足元を見つめ直そうということになり、11月9日、新本分館に地区の人20人



義民4人衆ゆかりの地を訪ねた参加者

が集まりました。

出発前に新本義民騒動をおさらいし、お墓をはじめ、住居跡、寄り合い場、村人が密かに義民を祭ったうしがみさまなど、ゆかりの地9か所を訪ねました。ゆかりの場所が人里から離れた場所や山中に多く、直訴を決行する当時の厳しい状況をしるのぶことができませんでした。

参加者からは、「こんなところに」や「語り継がないとね」という声が聞かれました。

(新本享保義民奉賛会 赤木春夫さん・新本)

インタビュー Interview

輝いている人

健康が許す限り、
総社のすばらしさを紹介したい



岡山文化観光検定1級に最年長(合格当時77歳)で合格した

池上 宣雄さん(井手)

岡山文化観光検定1級に最年長で合格したのが池上宣雄さん(78歳)だ。

この検定(岡山商工会議所主催)は、岡山に関する多様な知識を問うもので、1級は難易度が最も高い。同検定の2級合格者を対象に今年初めて実施された。

歴史や伝統行事、観光などに関する100問に、80問以上正解すると合格。記述式が中心で、短い文章で答える出題もあり、「人名などの固有名詞を漢字で正確に回答しなければならず苦労した」と振り返る。

普段は、ボランティア観光ガイドとして活躍している。8年前、知人に誘われ、地域に何か恩返しのできたらと始めた。月に5、6回程度、吉備路風土記の丘や鬼ノ城、宝福寺などを案内する。

「総社や吉備路だけな

く、県下一円を勉強をしなければ」。よりよいガイドのためと、検定を利用して知識を会得していった。3年前に3級、2年前に2級をクリアした。

本は好きでよく読んでいるそうだが、1級の出題範囲は広く、受験するまでの3か月間、一生懸命に検定のテキスト本を読み勉強した。「合格の通知を見て、一安心した」。家族には、「年の割りにがんばったね」と、言われたそう。

「熱心に聞いてくれる人があります。勉強になる」。新しい情報の収集も欠かせず、ガイドに情熱を傾ける。ガイドは生きがいであり、健康増進にもなるという池上さん。「健康が許す限り、総社のすばらしさを紹介できたらうれしい」と、目を細める。

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。

1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ